

近畿支部サイトWG報告

saajk.org

2011年8月20日

—日本システム監査人協会 近畿支部 2011年度研究大会—

SAAJ近畿支部サイトWG

金子 力造(株式会社ボックス)

神尾 博(クボタシステム開発株式会社)

サイトWG概要

■ メンバー

- 金子 力造(株式会社ボックス)【主査】
- 神尾 博(クボタシステム開発株式会社)【副主査】
- 関西 康一郎(創玄塾 代表)【SAAJ理事】
- 中村 謙一(中村公認会計士事務所)

■ 活動内容

- 支部活動(各WG、研究会、イベント)に必要なメールやメーリングリストを発行管理する。
- 支部サイトを活用し、情報発信・広報活動・会員サービスなどに役立てる。
- その他、支部でのIT活用を支援する。

報告要旨

■ 活動報告

サイトWGでは、近畿支部からの情報発信及びWG・研究会など支部活動を支援する目的で、平成21年3月にドメインを取得し2年間サーバ運用を行って来た。これまでの経緯と活動内容を報告する。

■ 検討事項

NPOなど非営利団体では、様々な企業組織に属する個人が寄り集まって活動するため、一般企業と異なったポリシーに基づく運用ルールが必要となってくる。物理インフラがない支部では、今後もWEBサービスやクラウドを活用せざるをえない。WG内で検討した課題と事例を紹介する。

■ 今後の課題

近畿支部からの情報発信や活用の方向性も含め、NPO組織における持続可能なIT基盤のあり方について提案する。

(※ここでのIT基盤とは、ITインフラ及び運用体制も含む。)

目次

1. 活動報告

1. なぜ近畿支部でサイトが必要となったか？
2. 活動実績の報告(2009-2011)
3. 現状の支部ITインフラと本部との役割分担

2. 検討事項

1. NPO固有の課題について
2. メーリングリストの運用について
3. ストレージサービスの運用事例
4. 定例研究会資料ダウンロードサイトの運用事例

3. 今後の課題

1. 持続可能なIT基盤のあり方について
2. 支部からの情報発信やサイト活用について
3. 今後の活動にあたって

➤ 補足資料

- a. ホスティング委託先資料
- b. 支部ホームページ紹介
- c. メーリングリスト運用ガイドライン案(①～④)

1.活動報告

1.1 なぜ近畿支部でサイトが必要となったか？

■ サイトWG開設の経緯（2008年～2009年の状況）

課題	対応	要望
支部用メールアドレスが無い	受付用に個人アドレスを使用していた	代表アドレスをタイムリーに発行したい。
支部用メーリングリストが自由に発行出来ない	Yahooなどの無料MLを利用していた	メーリングリストをタイムリーに発行したい。
支部用サイトが無い	資料ダウンロードなど個人のリソースを借用	支部からの情報発信 会員サービスが必要

- ◆ 無料サービス又は個人のリソースに依存していた。
- ◆ セキュリティやサービス継続性、引継の問題があった。

支部活動を補完するためのIT基盤が必要！

1.活動報告

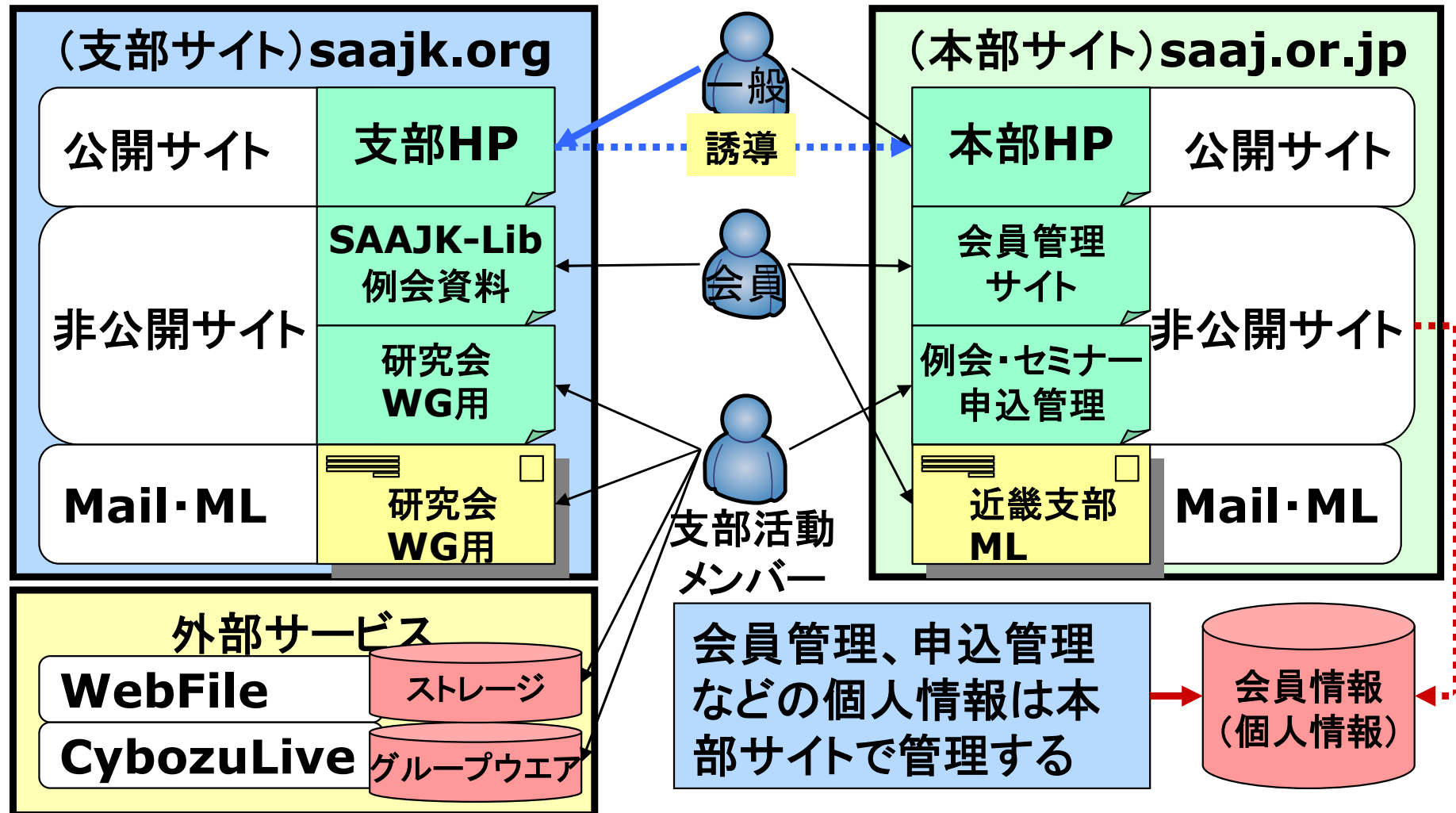
1.2 活動実績の報告(2009-2011)

2009年3月ドメイン取得、ホスティング運用開始→補足資料a参照

	2009年	2010年	2011年
メール・ML 発行管理	<ul style="list-style-type: none">●入門セミナー2009●実践セミナー2009●システム監査サービス●21周年記念シンポ●西日本支部合同研究会	<ul style="list-style-type: none">●ML運用ガイドライン検討 →補足資料c参照●システム監査セミナー2010●支部役員用●コンプライアンス研究会●BCP研究会●法制化研究会	<ul style="list-style-type: none">●システム監査セミナー2011●2011年度研究大会用
サイト活用	<ul style="list-style-type: none">●システムの検討 (CMSでの構築決定)●運用方法の検討●サイトマップ案策定 →補足資料b参照	<ul style="list-style-type: none">●支部HP立ち上げ (2010年1月～運用開始)●定例研究会レポートやセミナーチラシなどを記事として掲載、広報活動に利用	<ul style="list-style-type: none">●例会資料ダウンロードサイト(SAAJK-Lib)の開設 →2.4で紹介
他活動支援	<ul style="list-style-type: none">●システム監査サービスでのドキュメント共有に有料のストレージサービスを期間限定で利用 →2.3で紹介	<ul style="list-style-type: none">●コンプライアンス研究会 →WEB掲示板設定●BCP研究会→無料のストレージサービス申し込み	<ul style="list-style-type: none">●2011研究大会実行委員の情報共有ツールとして無料グループウェア利用

1. 活動報告

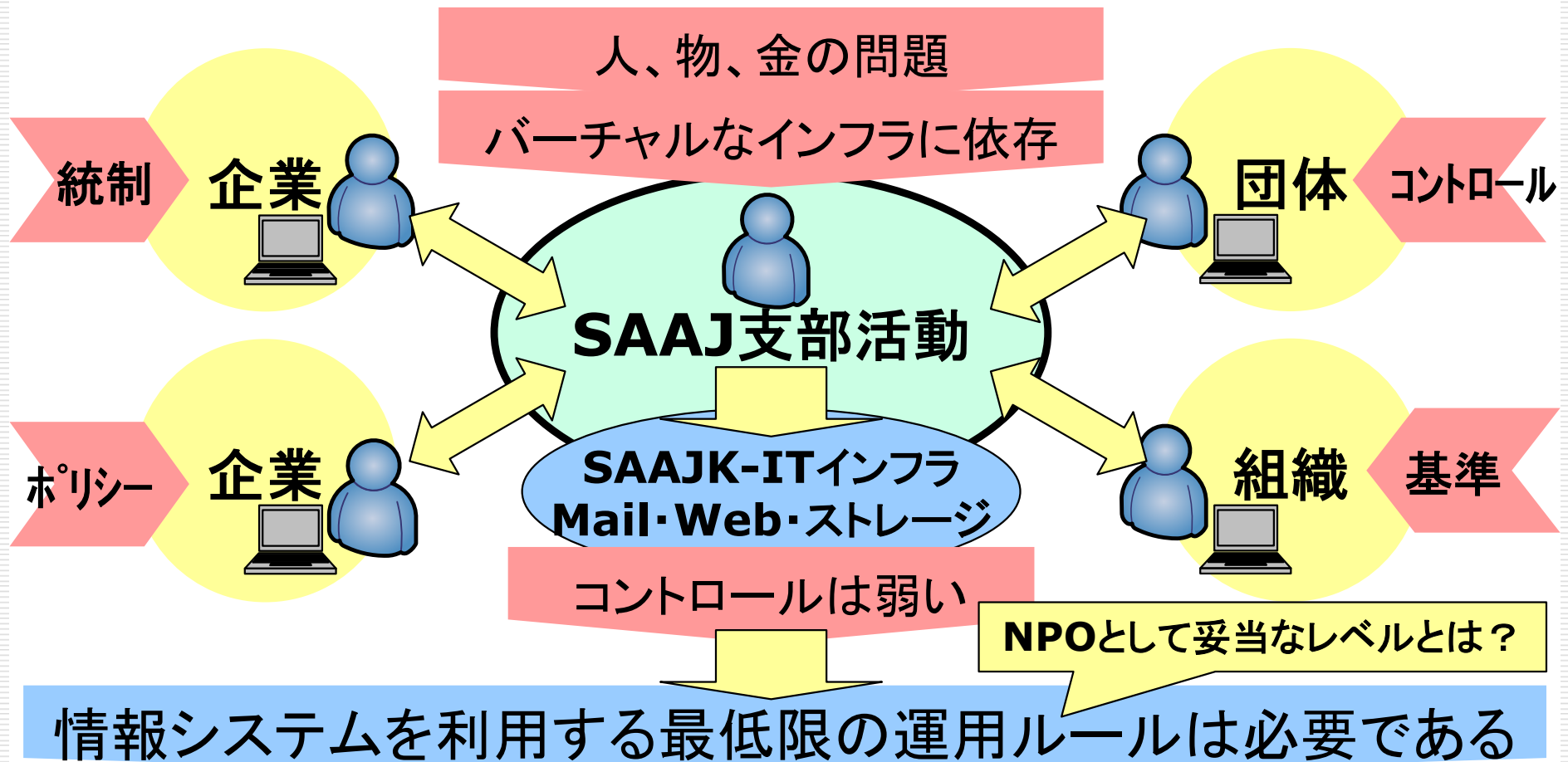
1.3 現状の支部ITインフラと本部との役割分担



2. 検討事項

2.1 NPO固有の課題について

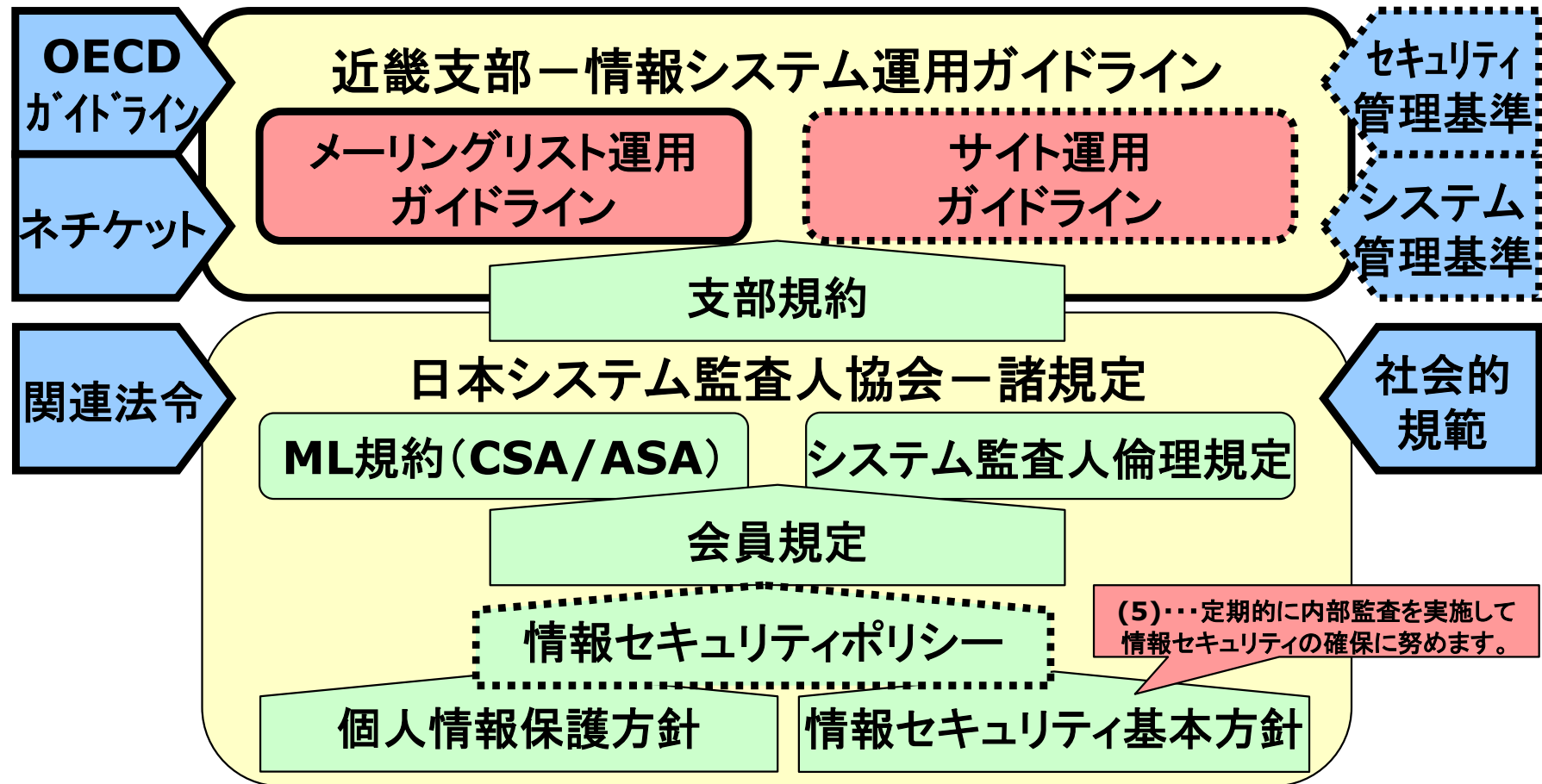
- 様々な企業・組織に属する個人が寄り集まって活動する。



2. 検討事項

2.2 メーリングリストの運用について

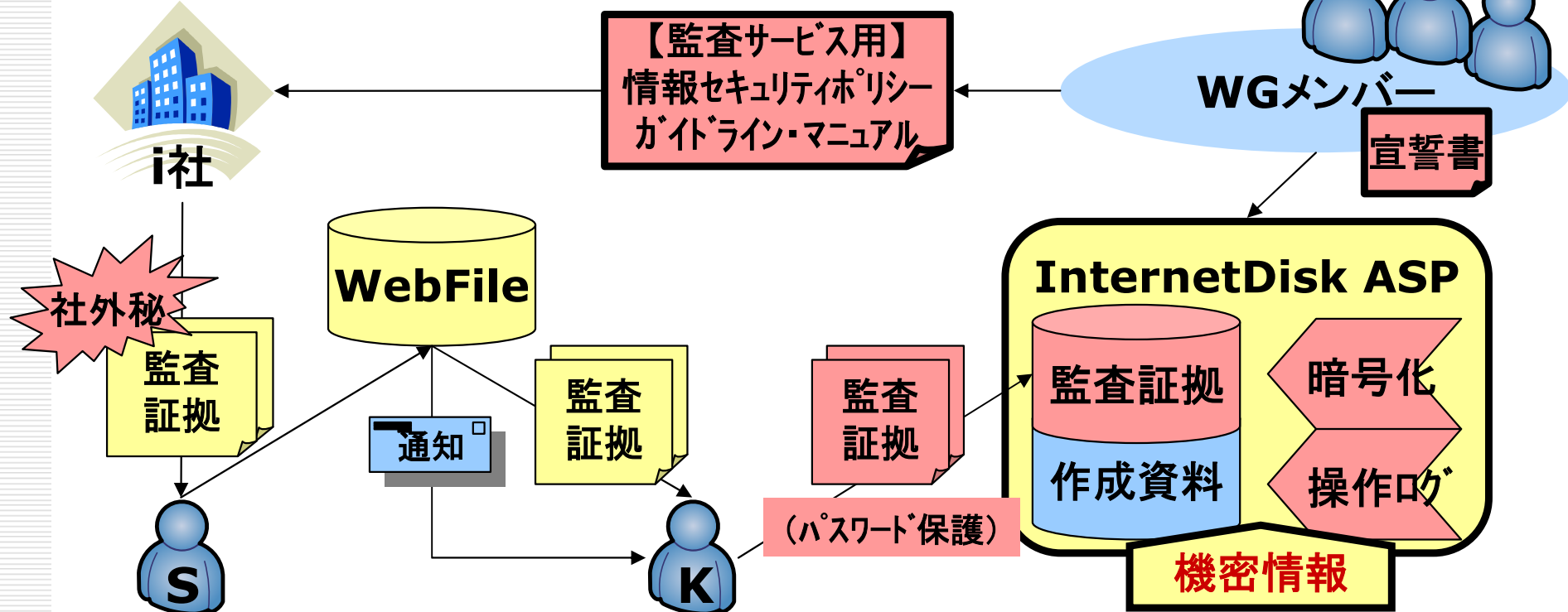
- ML運用ガイドラインの策定と位置づけ→補足資料c参照



2. 検討事項

2.3 ストレージサービスの運用事例

- 2009年9月～i社システム監査普及サービスにて、監査証拠及び作成資料を共有する目的でストレージサービスを利用した。



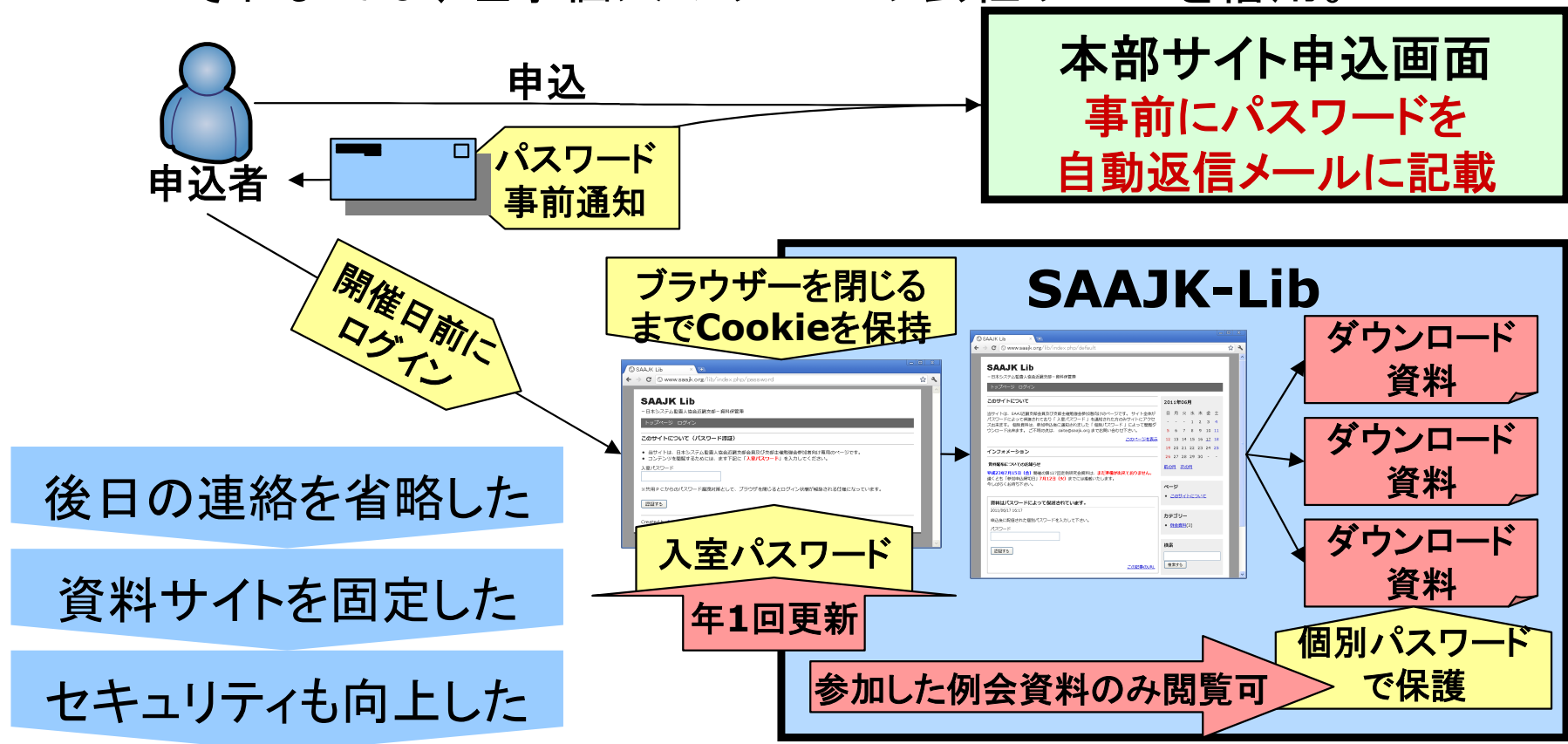
NPOでも、セキュリティなど相当の配慮が必要な活動もある

2. 検討事項

2.4 定例研究会資料ダウンロードサイトの運用事例

- 2011年3月～資料ダウンロードサイトの運用を開始した。

- それまでは、理事個人のサーバや会社サーバを借用。



3. 今後の課題

3.1 持続可能なIT基盤のあり方について

- SAAJ近畿支部のITインフラとしては
 - セキュリティや有効性を考慮しつつ、WEBサービスやクラウドを活用せざるをえない。
- サービスを持続させるためには
 - 運用は個人管理ではなく**チーム運営**が望ましい。
 - NPOとして妥当なレベル感**について合意が必要。
 - ガイドラインや手順を(可能な範囲で)整備し運用を**標準化**する必要がある。
 - 第3者チェック**によりリスクを低減することが望ましい。
(SAAJK内での内部牽制を想定)

その前に可監査性を高める必要がある。

3. 今後の課題

3.2 支部からの情報発信やサイト活用について

システム監査の普及と近畿支部会員サービスのために

■ 情報発信(案)サイト活用(案)

- 支部**会員**の**紹介**。システム監査に係わる部分だけでなく、普段の活動も含め取材形式で掲載する。(関西)
- 会員の**出版物**の紹介。(関西)
- WGや研究会の**成果物・報告書**の中で公開可能なものを近畿支部から情報発信する。(金子)
- システム監査に利用出来る、もしくは普及につながるような**WEBツール**の開発をしてはどうか。(吉田)
- 近畿支部で**コミュニケーション用のML**を発行する。但し、ML運用ガイドラインを遵守すること。(神尾)

3. 今後の課題

3.3 今後の活動にあたって

サイトWGメンバー大募集！

- 近畿支部サイトWGでは、サーバ運用、サイト活用などコンテンツの検討やセキュリティの検証など、次年度に向けて運営体制の強化を図っていきたいと考えています。
- WEBやCMSやホスティングの運用なら得意という方。
- セキュリティやシステム監査の視点からアドバイスしていただける方。
- 支部サイトの有効活用についてアイデアをいただける方。
- その他どのような参加の形でも。

→site@saajk.org (金子)までご連絡下さい。

ご静聴ありがとうございました

<補足資料a>

ホスティング委託先資料

■ 委託先

委託先	さくらインターネット株式会社
認証等	ISO27001／プライバシーマーク
データセンター	日本国内
レンタル費用	ドメイン&サーバ:約8千円／年間

■ サーバ要件・仕様

メールサーバ	メール発行機能(無制限)、ML発行機能(10個) メール転送機能、ウィルスチェック有
WEBサーバ	共用SSL対応、アクセス制限機能有、DB利用可、 CMS等CGIの利用可、WAF有
その他	アクセス解析有、アクセスログ保存(最大1年)

<補足資料b> 近畿支部ホームページ

http://saajk.org

■ サイトマップ案ー関西(2009年)

2010年1月～公開

- トップページ
- 新着情報
- 近畿支部紹介
 - 支部規約
 - 定例会・研究会
 - プロジェクト等一覧
 - .
 - .
- お問い合わせ
- 近畿支部ブログ
- リンク
 - .



CMSにて構築

<補足資料c-①>

メーリングリスト運用ガイドライン案①ー神尾

■ 個人情報

	近畿支部ML	各プロジェクトML
個人情報の定義	メールアドレス	メールアドレス
個人情報の利用目的	近畿会MLでの送受信のみに利用	各MLでの送受信のみに利用
個人情報の第三者への開示	原則としてしない (犯罪捜査等の特別なケースを除く)	原則としてしない (犯罪捜査等の特別なケースを除く)
メンバー間における個人情報の開示(ML全員の情報)	非公開 →whoコマンドは無効に設定	各MLメンバー間では原則公開 →whoコマンドは有効に設定
メンバー間における個人情報の開示(投稿)	投稿者は、投稿時点で自分のメールアドレスが公開となるリスクを受容したと見なす。	前項により、定義は無意味。

※個人情報については主にOECDガイドラインを参考に、その他は一般ネチケットを参考にした。

<補足資料c-②>

メーリングリスト運用ガイドライン案②ー神尾

■ 参加・退会

	近畿支部ML	各プロジェクトML
参加条件	SAAJ会員で、かつ近畿地区在住者	SAAJ会員で各プロジェクト員
参加方法	本人より〇〇にメールにて申込	本人より各プロジェクトリーダーにメールにて申込
退会方法	本人より〇〇にメールにて申入	本人より各プロジェクトリーダーにメールにて申入
照会・異議申立方法	本人より〇〇にメールにて申入	本人より各プロジェクトリーダーにメールにて申入、または本人より〇〇にメールにて申入
参加・退会方法等の定期的通知	MLのフッタに「このMLに関する入退会・各種照会はこちら」とリンクを貼る？	各プロジェクトリーダーに委ねる (当ガイドラインを尊重すること)
登録メールアドレスのレビュー(棚卸)	※検討中 (長期の放置は避ける方向)	原則として行わない (プロジェクト解散後にMLを廃止)
1人当たりのメールアドレス登録数	原則1個(理事等は複数認める)	原則2個まで(企業でのフィルタリングや転送禁止へ等の対応のため、勤務先・自宅の各1個を想定)

※〇〇は専用受付アドレス。スパム対策のため定期的に変更する。 18

<補足資料c-③>

メーリングリスト運用ガイドライン案③ー神尾

■ セキュリティの確保

	近畿支部ML	各プロジェクトML
セキュリティの確保 ①ホスティング委託	ホスティング委託先はISMS認定されている。(具体的なセキュリティ対策は非公開)	ホスティング委託先はISMS認定されている。(具体的なセキュリティ対策は非公開)
セキュリティの確保 ②ML運用管理者のID、パスワード	ID、パスワードは所持者が責任を持って管理する。(パスワードは、推測容易なフレーズを禁止、定期的な変更を実施)	ID、パスワードは所持者が責任を持って管理する。(パスワードは、推測容易なフレーズを禁止、定期的な変更を実施)
セキュリティの確保 ③ウイルスメール対策	ホスティング会社のサービスを利用し、検出時はMLに流さない。アラートの送信(ML管理者、送信元)については別途検討	ホスティング会社のサービスを利用し、検出時はMLに流さない。アラートの送信(ML管理者、送信元)については別途検討
セキュリティの確保 ④スパム対策	MLに登録されていないアドレスからの投稿は、受け付けない	MLに登録されていないアドレスからの投稿は、受け付けない

※ホスティング委託先については補足資料aを参照

<補足資料c-④>

メーリングリスト運用ガイドライン案④ー神尾

■ 投稿ガイドライン

	近畿支部ML	各プロジェクトML
投稿ガイドライン ①文責等	投稿されたメール内容(文面、添付ファイル等)に関する責任は、すべて投稿者本人に帰属する。	投稿されたメール内容(文面、添付ファイル等)に関する責任は、すべて投稿者本人に帰属する。
投稿ガイドライン ②種類	特定多数への配信に、ふさわしくない種類のメールの投稿は禁止する。(例)定例会参加申し込みのMLへの返信。数人だけの会話的なもの。	Face to Face の機会への参加を前提に、特に制限はかけない。一般ネチケットの範囲内が望ましい。
投稿ガイドライン ③文面	Face to Face の機会への参加をしないメンバーの存在も意識して投稿する事。(例)意見の相違はあってよい。意見の根拠を明確にしない事は、見下されても仕方がない。	Face to Face の機会への参加を前提に、特に議論の制限はかけない。一般ネチケットの範囲内が望ましい。
投稿違反者・問題者の判定	サイト&MLのWGが、当ガイドラインに則り判定する。サイト&MLのWGで、複数の意見のある場合は支部長が判断する。	各プロジェクトリーダーに委ねる(当ガイドラインを尊重すること)
投稿違反者・問題者への対処	サイト&MLのWGまたは理事により、警告／他の措置を行う。	各プロジェクトリーダーに委ねる(当ガイドラインを尊重すること)